

# 法案審議に8割が不満

この法案は、国会開会直前の世論調査で、過半数を超える市民から「国会中に成立させるのには反対」とされてきました。安倍首相と同じ自民党の長老でさえ、「恐ろしい国になっていく」と警鐘をならすほどでした。国会審議が始まると、政府は「自衛隊の活動は広がらない」「自衛隊のリスクは広がらない」と繰り返すものの、想定される具体的な事例の質問には曖昧な答弁を繰り返す、まともな審議ができなくなっています。

五月末の共同通信社の世論調査では、この法案に対し、八一・四％が説明不足と回答、また、七割近くが「自衛隊が戦争に巻き込まれるリスクが高くなる」と回答しまし

# 越教組ニュース

越谷市教職員組合情宣部  
 kosikyouso.sakura.ne.jp  
 15. 6. 17 (水)  
 Tel 988-3281  
 Fax 988-3283

安倍内閣は、昨年七月に集団的自衛権を認める憲法解釈を閣議決定し、これに基づいて、自衛隊を海外に派遣して戦争に参加することを可能とする「国際平和支援法案」「平和安全整備法案」を国会に提出しました。この法案は名前にこそ「平和」と載っていますが、他国軍を後方支援したり、自衛隊法を改訂し、どこでも活動できるようにしたりする「戦争法案」に他ありません。

# 戦争法案は 廃案しかない

これは、国民の大多数が法案に納得していないことを明確に示しています。



# 参考人全員が違憲表明

次いで六月四日の衆院憲法審査会では、参考人の三人の憲法学者が集団的自衛権行使を可能にする「安保関連法案」について「憲法に違反する」との認識を表明しました。三人の学者の中には与党である自民党が推薦した学者も含まれており、「身内」の学者をもってしても「是」とすることはできない法案であることが明らかに

なりました。これに対し、菅官房長官は「違憲じゃない」という憲法学者もたくさんいる。」と強弁しました。しかし、参考人の一人の小林氏に「憲法学者は何百人もいるが、違憲ではないという学者は二、三人。」と反論されたり、集団的自衛権を合憲とした首相の私的諮問機関には「憲法学者が一人しか

従来の政府の憲法解釈を踏み越えてしまったので違憲だ



笹田崇司参考人(早稲田大学政治経済学術院教授) = 4日、衆院憲法審査会

海外に戦争に行くというのは、憲法9条、とりわけ2項違反だ



小林節参考人(慶応義塾大学名誉教授) = 4日、衆院憲法審査会

集団的自衛権が許されるという点は憲法違反だ



長谷部恭男参考人(早稲田大学法学学術院教授) = 4日、衆院憲法審査会

いかなかった。」と記者から指摘されたりして、自らの正当性に墓穴を掘る結果となりました。

今国会での朗報  
 一衆院文教委員会一  
**35人学級へ  
 法改正検討**

これは野党議員の「教育現場が多忙化しているのに、財務省は42000人の削減を打ち出している。教員を減少させていいのか」という質問に文科大臣が答えたもの。文科省として財務省に予算要求していく方向を明言しました。

**識者が弁護士が次々と**

反対に憲法学者が呼びかけた法案廃案を求める声明には、一八六名もの識者が賛同の意向を示しています。学者だけでなく、弁護士会もこの法案に懸念を表明しました。埼玉では弁護士会の呼びかけで、法案反対の一人を超す大集会が行われました。国民の多数から支持を失った「安保関連法案」しかし安倍内閣は、経済政策を前面に掲げて獲得し

た議会の数の力を盾に、遮二無二今国会での法案成立を強行しようとしています。

もしこれを許すようなことがあれば、日本は本当に「恐ろしい国」となっていくことでしょう。組合も、「教え子をふたたび戦場に送るな」のもと、最後までこの法案に反対することを表明します。

